

2026年6月海洋観測結果について

5月25日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ(<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>)と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

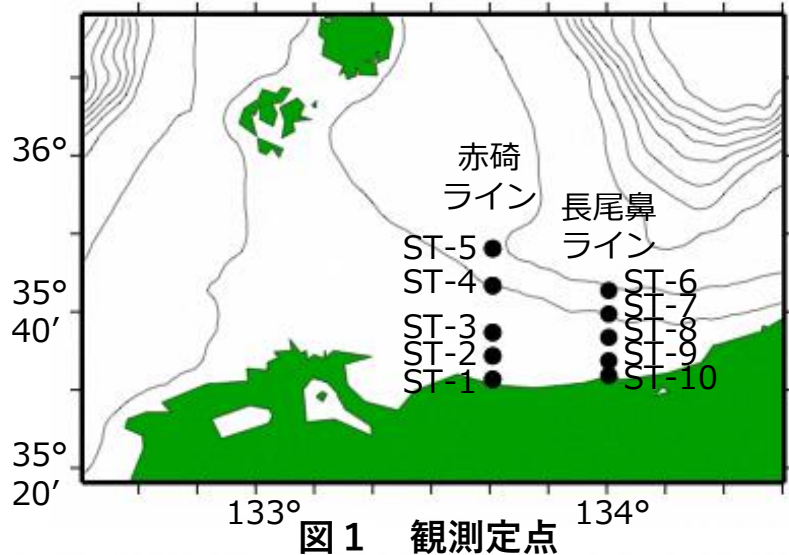


図1 観測定点

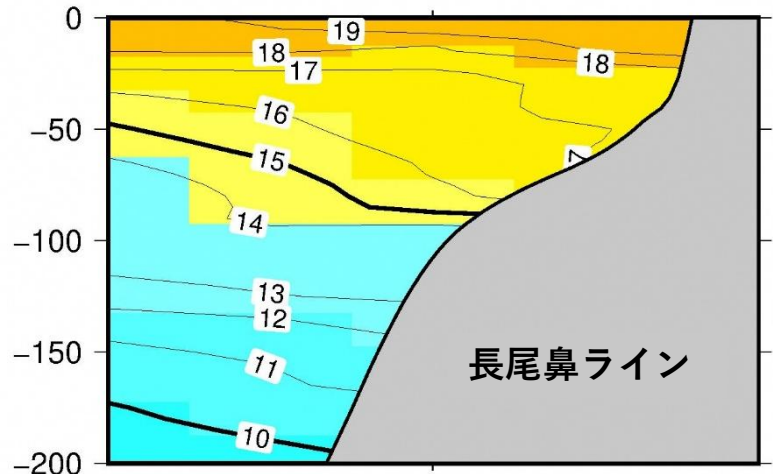
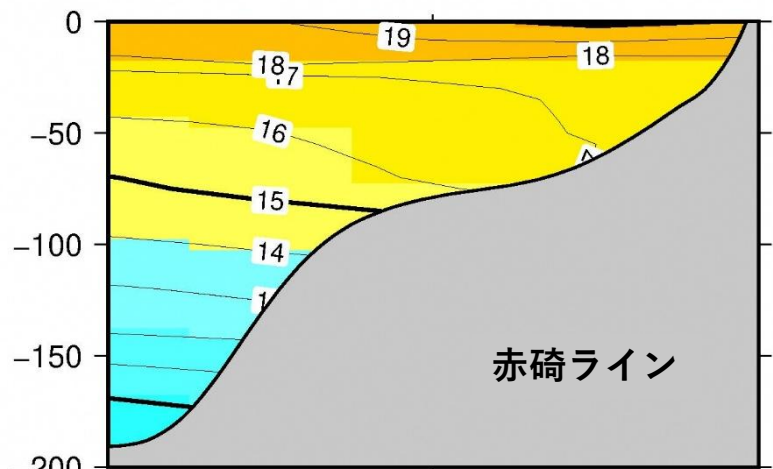


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は20℃前半に上昇していました。また水深30～100mも同様に上昇しており、14～16℃台と、前月より0.6～2.0℃高く推移していました。

【水深帯別の比較】

長尾鼻及び赤碕ともに、表面水温は平年より1.1℃高く推移していました。また水深30～50mの水温は概ね平年並みでした（表2）。

両地点とも表面水温はが前月から3.1～3.7℃上昇していました。これは対馬暖流の勢力が5月上旬から著しく強まったことが影響していると考えられます（図3）。

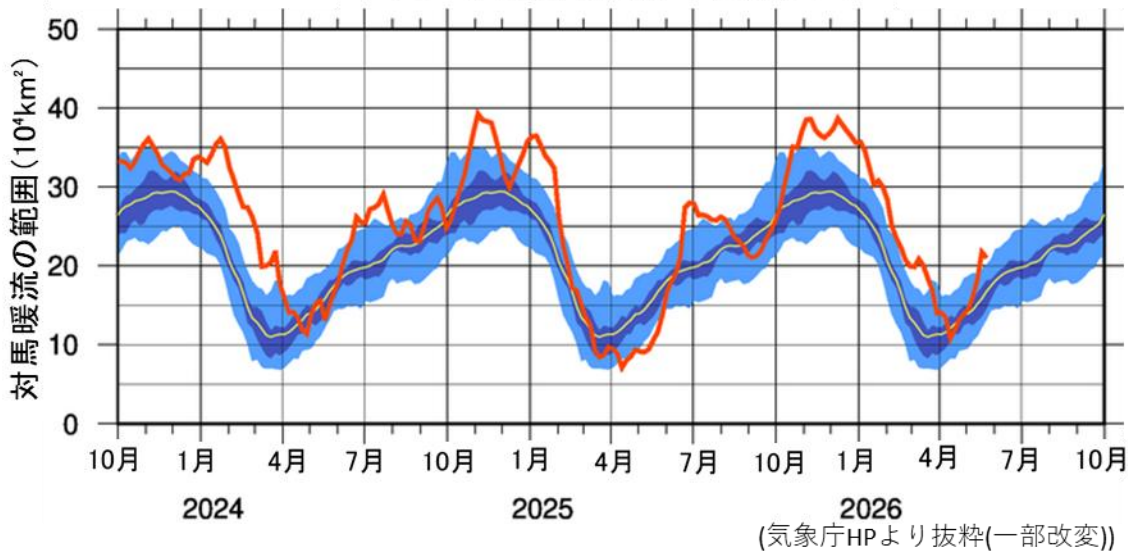
今後、対馬暖流の勢力は強まることが予測され、気温も上昇していくことから、さらに水温は上昇すると思われます。

表2 赤碕及び長尾鼻ラインの5月平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2026年	19.5	16.8	16.5	14.6	19.8	16.9	16.4	14.3
前年	17.0	16.6	16.0	14.6	17.4	16.7	16.3	15.9
2010-25年平均	18.4	17.1	16.6	15.5	18.7	16.9	16.4	15.4
平年差	1.1	-0.3	-0.1	-0.9	1.1	0.0	0.0	-1.1

(℃)

図3 対馬暖流の勢力図



<参考>
気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.
https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaikyo/tsushima/tsushima_area.html,(2026-05-28参照)